

上尾市における住宅用火災警報器(住警器)の奏功事例

No.	年月	時間	出火場所	建物概要	焼損程度	出火原因等	発見・通報・初期消火の概要	備考
1	H20.8	19時頃	平塚	木造2階建て専用住宅	なし	鍋の空焚き	居住者が台所のガスコンロに鍋をかけたまま外出したため、鍋から発煙し、台所隣の寝室の住警器が作動した。 隣人が警報音に気づき、外に出たところ建物から煙が出ていたため119番通報した。消防隊が到着し、ガスコンロの火を消した。	非火災
2	H21.2	23時頃	上	RC造5階建て共同住宅	なし	鍋の空焚き	居住者が台所のガスコンロに圧力鍋をかけたまま寝ていたところ、台所隣の寝室の住警器が作動した。 隣人が警報音に気づき、建物から煙が出ていたため119番通報した。居住者は警報音に気づき、ガスコンロの火を止めた。	非火災
3	H21.2	9時頃	上	木造2階建て専用住宅	ぼや	仏壇の線香が座布団の上に落下	居住者が仏壇に線香をあげ外出したところ、線香が座布団に落下し発火した。 隣の台所の住警器が作動し、付近の人がその警報音を聞き駆け付けたところ、建物から煙がでていたため119番通報した。消防隊が到着し、座布団及び畳が無炎燃焼中であったため消火した。	火災
4	H21.2	19時頃	中妻	木造2階建て専用住宅	ぼや	電気ストーブの上にタオルが落下	居住者が居間でテレビを見ていたところ、廊下に設置されていた住警器が作動した。 その音に気づきドアを開けると、廊下に煙が充満しており、洗面所に置いてある電気ストーブの上でタオルが燃えていたため、浴室のシャワーで消火し、119番通報した。	火災
5	H21.8	8時頃	瓦葺	木造平屋建て専用住宅	ぼや	ガステーブルのグリル内に蓄積した油かす	夫婦で食事をしていたところ、部屋の中に煙が充満し、台所の住警器が作動した。 台所を確認したところ、ガステーブルのグリルから炎が上がっていたため、濡れタオルや流しの水をかけて消火し、119番通報した。	火災
6	H21.10	13時頃	錦町	木造2階建て専用住宅	なし	鍋の空焚き	居住者が台所のガスコンロに鍋をかけたまま寝てしまったため、鍋から発煙し、隣のリビングの住警器が作動した。 隣人が建物から煙が出ていたのを確認し、119番通報した。居住者は警報音により目覚め、ガスコンロの火を止めた。	非火災
7	H22.1	16時頃	中分	木造2階建て専用住宅	部分焼	天ぷら鍋	居住者が台所のガスコンロに天ぷら鍋をかけたままその場を離れたため、油が過熱して出火し、台所の住警器が作動した。 居住者は警報音に気づき、濡れたバスタオルを鍋にかけて消火し、119番通報した。	火災
8	H22.2	7時頃	上尾下	鉄骨造2階建て共同住宅	なし	鍋の空焚き	居住者が台所のガスコンロに鍋をかけたまま仕事に出かけたため、鍋から発煙し、台所の住警器が作動した。 階下の住民が警報音に気づき、2階の換気扇より煙が出ていたのを確認し、119番通報した。消防隊が到着し、ガスコンロの火を消した。	非火災

上尾市における住宅用火災警報器(住警器)の奏功事例

No.	年月	時間	出火場所	建物概要	焼損程度	出火原因等	発見・通報・初期消火の概要	備考
9	H22.7	2時頃	泉台	鉄骨造2階建て 共同住宅	部分焼	たばこの不始末	居住者が2階の寝室で寝ていたところ、住警器の作動で目が覚め、隣の居室中央付近より炎が出ているのを発見した。 火災を知らせるために、出窓から屋外に避難し、1階住民に通報を依頼、その後初期消火を試みるも、濃煙で断念する。	火災
10	H22.9	2時頃	小泉	2階建て 専用住宅	なし	鍋の空焚き	居住者の娘が台所のコンロに鍋をかけたまま寝てしまったため、鍋から発煙し、住警器が作動した。 居住者は2階の寝室で就寝中であったが、その音で目を覚ました。鍋と鍋の内容物を焦がしたが、火災には至らなかった。	非火災
11	H23.7	23時頃	谷津	4階建て 複合用途ビル	なし	鍋の空焚き	3階専用住宅の居住者が台所のガスコンロに鍋をかけたまま眠ってしまったため、鍋から発煙し、台所の住警器が作動した。 1階店舗の店員が窓から煙が出ているのを発見し、119番通報した。居住者は警報音に気づき、ガスコンロの火を消した。	非火災
12	H23.9	5時頃	井戸木	2階建て 専用住宅	ぼや	ちょうちんの火が カーテンに着火	居住者が、居間にあるちょうちんに火を付け、寝てしまったところ、ちょうちんの火がカーテンに燃え広がり、隣の台所に設置してある火災・ガス漏れ複合型警報器が作動した。 その音で目を覚ました居住者が流し台にあったボウルに水をくみ、初期消火を行った。居間から煙が出ているのを発見した通行人が119番通報を行った。	火災
13	H23.12	0時頃	平方	2階建て 専用住宅	ぼや	食器洗い乾燥 機より出火	居住者が入浴中、2階の階段に設置されている住警器が作動した。その音に気付いた居住者が台所に行くと、システムキッチンに組み込まれている食器洗い乾燥機より炎が出ているのを発見し、流し台にあったボウルで水をかけて消火し119番通報した。	火災
14	H24.2	13時頃	本町	2階建て店舗兼 専用住宅	なし	鍋の空焚き	居住者が鍋をガスコンロに掛け10分程度その場を離れたところ、鍋から発煙し階段室の住警器が作動した。 隣人が警報音と煙に気づき119番通報し、居住者も警報音に気づき戻ってきたところ、ガスコンロの火を止めた。	非火災
15	H24.2	2時頃	西宮下	2階建て 専用住宅	ぼや	電気ストーブに 布団が接触	居住者が2階寝室で電気ストーブをつけたまま就寝していたところ、布団が電気ストーブに接触し発火したため、寝室に設置されている住警器が作動した。 その音で目を覚ました居住者は、燃えていた布団を洗面台に持っていき水道水で消火し、その後119番通報した。	火災

上尾市における住宅用火災警報器(住警器)の奏功事例

No.	年月	時間	出火場所	建物概要	焼損程度	出火原因等	発見・通報・初期消火の概要	備考
16	H24.6	11時頃	中妻	2階建て専用住宅	なし	鍋の空焚き	居住者が鍋をガスコンロに掛け外出したところ、鍋の中の内容物が焦げ、セコム設置の住警器が作動した。 発報を受信したセコム警備員が現場に到着すると、換気扇から黒煙が噴き出ているのを確認したため、セコム指令センターへ連絡し、同センターから119番通報したもの。 消防隊現場到着時、既にセコム警備員と居住者が現場到着しており、居住者によりコンロの火は消されていた。	非火災
17	H24.10	16時頃	今泉	2階建て専用住宅	なし	鍋の空焚き	居住者が鍋をガスコンロに掛け外出したところ、鍋の中の内容物が焦げ、階段室に取り付けられていた住警器が作動した。 隣人が換気扇から煙が出ていること、及び住警器の鳴動を確認したため119番通報したもの。 消防隊現場到着時、室内に煙が充満していたため、消防隊によりガスコンロの火を止めた。	非火災
18	H25.11	22時頃	愛宕	2階建て専用住宅	部分焼	不明	子供が入浴中に2階子供部屋の住警器が作動した。 2階の自室に居た妻が、その警報音に気付いて子供部屋を確認したところ、火災を発見したため、119番通報を行った。妻から火災の発生を知らされた夫が消火器を使用して初期消火を行った。 2階子供部屋内の内壁並びに電気コード、タッブ及び電気カーペット(45cm×45cm)等が焼損した。	火災
19	H26.1	9時頃	緑丘	2階建て共同住宅	なし	鍋の空焚き	2階の居住者が台所でガスコンロにフライパンをかけたまま寝てしまったため、フライパンの内容物が焦げ、台所の住警器が作動した。 隣人が警報音に気づき、玄関付近で焦げ臭いにおいがしたため119番通報した。消防隊が到着後、その騒ぎに居住者が気づき、ガスコンロの火を消した。	非火災
20	H26.1	9時頃	瓦葺	2階建て専用住宅	ぼや	配線器具	居住者が2階で洗濯物を干していたところ、1階台所の住警器が作動した。居住者が警報音に気づき1階に降りたところ、リビングのコンセント付近から火が出ていたため、布団をかぶせて消火した。翌日、119番通報を行った。	火災
21	H26.2	20時頃	小泉	2階建て専用住宅	ぼや	電気ストーブ	居住者が1階リビングでテレビを観ていたところ、2階階段の住警器が作動した。確認したところ、1階脱衣所の電気ストーブに覆いかぶさっていたタオルから火が出ていたため、水道水にて消火した。翌日、119番通報を行った。	火災
22	H26.4	8時頃	瓦葺	2階建て共同住宅	なし	電子レンジによる過熱	1階の居住者が電子レンジでパンを温めていたところ、電子レンジから煙が発生し、居室の住警器が作動した。居住者は警報音に気づき、119番通報を行った。	非火災

上尾市における住宅用火災警報器(住警器)の奏功事例

No.	年月	時間	出火場所	建物概要	焼損程度	出火原因等	発見・通報・初期消火の概要	備考
23	H26.6	21時頃	小敷谷	5階建て 共同住宅	ぼや	鍋の放置	居住者が、煮沸消毒のため布巾やタオルを鍋に入れて、ガスコンロにかけていたところ、水分が蒸発したため、内容物が焼け、発生した煙により台所に設置されていた住警器が発報する。 上階の居住者が警報音に気付き、焦げたような臭いを確認し、119番通報する。 現場到着した消防隊が進入し、ガスコンロの火を消した。	火災
24	H26.6	22時頃	五番町	2階建て 併用住宅	なし	たばこの不始末	居間でテレビを見ていたところ、店舗事務室の住警器が鳴ったため火災と思ひ通報。 事務室でタバコを吸い、吸殻をステンレス製灰皿でもみ消したが火種が残っており、灰皿内の溜まっていた吸殻がくすぶり続け住警器が鳴動したものの。	非火災
25	H26.8	23時頃	春日	2階建て 専用住宅	なし	鍋の放置	居住者が鍋を台所のガスコンロにかけて火を点けたまま、台所の扉を締め切り居間で寝てしまった。 隣家の者が、住警器が発報する音と匂いに気づき家人に知らせ、119番通報を行う。 家人が屋外から呼ぶ声で、台所に入ると煙が充満し、鍋から煙が出ていた為、ガスコンロの火を消して鍋を流し台に移して水道水をかけた。	非火災
26	H26.11	17時頃	中新井	木造2階建て 専用住宅	ぼや	鍋の放置	居住者が鍋をガステーブルに掛けて、台所を離れたところ、鍋の中の内容物が焦げて発煙したため、2階の階段に設置されている住警器が作動した。 前を通りかかった通行人が警報音を聞いて煙に気付き、隣人に知らせ、隣人が119番通報したものの。	火災
27	H26.12	16時頃	小敷谷	RC造5階建て 共同住宅	なし	鍋の放置	居住者が、ガスコンロに鍋をかけたまま放置したため、住警器が作動した。 ガスコンロに鍋をかけていたことに気づきガスコンロの火を消すが、煙が充満しており焦げくさい臭いがしたため119番通報したものの。	非火災
28	H27.1	6時頃	緑丘	木造2階建て 専用住宅	部分焼	こんろ	居住者が1階台所でお湯を沸かすため、ガステーブルにやかんをかけたところ、食器に燃え移ったもの。 住警器の警報音が鳴ったことから119番通報し、屋外へと避難した。警報音を聞いて近隣住民が、建物から煙が出ているのに気づき、119番通報とバケツでの初期消火をした。	火災

上尾市における住宅用火災警報器(住警器)の奏功事例

No.	年月	時間	出火場所	建物概要	焼損程度	出火原因等	発見・通報・初期消火の概要	備考
29	H27.1	23時頃	柏座	RC造6階建て 共同住宅	ぼや	鍋の放置	土鍋をガスコンロにかけたまま、寝込んでしまい鍋の内容物が焼損したものの。 隣室の者が音に気付き自宅の玄関ドアを開けたところ、焦げ臭いにおいがして住警器の警報音が鳴っていることから、呼び鈴を鳴らしたが応答がないため、110番通報した。 警察官が到着し、ドアを叩き続けたところ居住者が出てきて、鍋を流し台に移して水道水で消火した。	火災
30	H27.1	14時頃	上	RC造5階建て 共同住宅	ぼや	たばこ	火のついたタバコがベッドのマットレスに接触したため、マットレスの一部を焼損した。 住警器の鳴動により火災に気付き、通報をするとともに母親と風呂の残り湯をバケツや洗面器に汲んで消火する。	火災
31	H27.2	6時頃	上尾下	鉄骨造2階建て 共同住宅	部分焼	不明	就寝中、住警器の鳴動で目を覚まし、寝室の戸を開けると台所内に黒煙が充満していたため、窓から避難する。 住警器の鳴動で火災に気付いた付近住民が119番通報する。	火災
32	H27.3	14時頃	壺丁目	木造2階建て 専用住宅	部分焼	配線	1階ダイニングキッチンで出火し、床面積約2㎡焼損した。 居住者は2階にいる時に住警器の鳴動で火災に気づき、バケツで水を2杯かけ、玄関から屋外に避難した。	火災
33	H27.6	14時頃	向山	木造2階建て 専用住宅	なし	鍋の放置	居住者が台所でガスコンロに鍋をかけたまま外出してしまい、鍋の内容物が焦げ、ダイニングの住警器が作動した。 隣人が警報音に気付き、窓から煙が出ていたため119番通報した。 消防隊が屋内進入し、ガスコンロの火を消した。	非火災
34	H27.6	17時頃	原市	耐火造5階建て 共同住宅	なし	鍋の放置	居住者がガスコンロに鍋をかけたまま、居間でテレビを観ている、鍋の内容物が焦げ、住警器の作動で気づいて火を消した。 通行人が警報音と臭いに気付き、119番通報した。	非火災
35	H27.12	11時頃	小敷谷	耐火造5階建て 共同住宅	ぼや	凹面鏡の収れん	キッチン床上に置いてあった衣類及び床材を焼損した。 居住者は外出中で、住警器の音に気付いた隣人が管理人に連絡し、管理人が居住者に連絡して、二人で部屋に入り、やかんの水をかけて消火する。	火災
36	H28.3	6時頃	瓦葺	準耐火造2階建て 共同住宅	ぼや	ストーブ	居住者が回転式座椅子で寝込んでいるときに、住警器の発報により目が覚め、座椅子が燃えているのに気付く。 洗面器に水道水を入れて消火した。	火災
37	H28.10	19時頃	上尾下	木造2階建て 専用住宅	半焼	放火	居住者が2階の寝室で横になっているときに、住警器の発報により、1階で発生している火災に気付き、妻と避難する。	火災

上尾市における住宅用火災警報器(住警器)の奏功事例

No.	年月	時間	出火場所	建物概要	焼損程度	出火原因等	発見・通報・初期消火の概要	備考
38	H29.5	8時頃	緑丘	木造2階建て専用住宅	なし	鍋の放置	居住者が、台所のガスコンロに鍋をかけたまま、隣の部屋で休んでいたところ、鍋から発煙し、ガス会社で設置した複合式の住警器が鳴動した。居住者がその音に気付いて火を消したため、鍋の中身が焦げたのみで火災に至らなかった。 近所の方が警報音と煙に気づき、119番通報を行った。	非火災
39	H29.10	23時頃	錦町	鉄骨造2階建て共同住宅	なし	鍋の放置	居住者が、台所のガスコンロに鍋をかけたまま、隣の部屋でテレビを見ていたところ、住警器が鳴動した。 その音に上階に住む女性が気づき、居住者に知らせた後、煙が充満していたので119番通報を行った。鍋の中身が焦げたのみで火災に至らなかった。	非火災
40	H29.10	15時頃	泉台	木造2階建て専用住宅	ぼや	ガステーブルのグリル内に固着した油脂	居住者が、夕食の支度中に台所を離れて洗面所にいたところ、台所の住警器が鳴動した。その音に気付いた居住者が台所に戻ると、ガステーブルのグリル内が燃えていたため、2階にいた子供たちに知らせ、居住者の娘が119番通報を行った。居住者の息子が、自宅向いの道路に設置されている消火器を使用して初期消火を行った。 消防隊到着時、煙は残っていたが、すでに消火されていた。	火災
41	H30.4	17時頃	二ツ宮	木造2階建て専用住宅	ぼや	電源プラグとコンセントの接触不良	居住者がダイニングで友人と過ごしていたところ、台所から住警器の鳴動が聞こえるとともに、煙の臭いを感じた。台所へ確認に行くと、冷蔵庫と食洗器のプラグが差し込まれたコンセント及びコンセント下の床に置かれていた紙袋等が燃えていた。 リビングにいた居住者の夫が異変に気づいて台所へ行き、コンセント部分の火は紙袋等を使用してもみ消し、床に置かれていた紙袋等は台所にあった容器で水道水を汲み、水をかけて消火した。 消火後、台所の天井の照明が切れてしまったため、電力会社に電話したところ、同社のアドバイスを受け、119番通報を行った。	火災
42	H30.6	22時頃	平塚	鉄骨造2階建て共同住宅	なし	鍋の放置	住居者が台所でガスコンロに鍋をかけたまま外出してしまい、鍋の内容物が焦げ、居室の住警器が作動した。隣人が異臭及び警報音に気づき119番通報を行った。鍋の中身が焦げたのみで火災に至らなかった。	非火災
43	H31.3	21時頃	浅間台	木造2階建て専用住宅	なし	鍋の放置	居住者が、台所のガスコンロに鍋をかけたまま居眠りしたため、鍋の内容物が焦げて煙が発生し、台所の住警器が作動した。 隣人が警報音と異臭に気付いて、110番通報を行ったため、警察からの入電により覚知した。 消防隊到着時、台所付近に煙が充満し、住警器が鳴動していたが、鍋の内容物が焦げたのみで火災には至らなかった。	非火災

上尾市における住宅用火災警報器(住警器)の奏功事例

No.	年月	時間	出火場所	建物概要	焼損程度	出火原因等	発見・通報・初期消火の概要	備考
44	R1.6	10時頃	柏座	耐火造 11階建て 共同住宅	ぼや	ベッドに 電気ストーブ が接触	1階住戸の居住者の息子(3才)が、寝室のベッドと壁の隙間に置かれていた電気ストーブのスイッチを入れたため、接触していたベッドから出火した。寝室にいた居住者は、住警器の鳴動に気付くとともに、電気ストーブ付近が燃えていることを発見し、リビングに居た妻に火災の発生を知らせた。その後、共用廊下に設置されていた消火器で初期消火を実施し、屋外に避難した。 居住者の妻は、119番通報を行った後、息子とともに屋外に避難した。	火災
45	R2.1	2時頃	平方	木造2階建て 専用住宅	部分焼	不明	居住者が2階で就寝していたところ、住宅用火災警報器が鳴動し、目が覚めた。1階に下りると、リビングへ向かうドアのガラス越しに火が見えた。ドアを開けると、約1mの高さで火が上がっていた。 火災であることを家族に知らせながらゴミ箱を利用して水をかけ、さらに居住者の父が消火器を使用して初期消火を行った。 火災の知らせを聞いた居住者の妻と娘が119番通報を行った。	火災
46	R2.5	1時頃	緑丘	耐火造5階建て 共同住宅	なし	鍋の放置	居住者が、台所のガスコンロに鍋をかけたままテレビを見ていたところ、鍋の内容物が焦げて発生した煙により台所に設置されていた住宅用火災警報器が発報した。警報音と異臭に気づきコンロの火を消し止め、鍋をシンク内に移動した後、水を入れて対処した。 中身が焦げたのみで火災に至らなかったが、焦げ臭い臭気を感じた上階の住人が119番通報を行った。	非火災
47	R2.5	9時頃	小敷谷	耐火造5階建て 共同住宅	なし	鍋の放置	居住者が、台所のガスコンロに鍋をかけたままテレビを見ていたところ、鍋の内容物が焦げて発生した煙により台所に設置されていた住宅用火災警報器が発報した。警報音と異臭に気づきコンロの火を消し止め、鍋をシンク内に移動した後、水を入れて対処した。 中身が焦げたのみで火災に至らなかったが、焦げ臭い臭気を感じた上階の住人が119番通報を行った。	非火災
48	R3.9	20時頃	瓦葺	木造2階建て 共同住宅	ぼや	鍋の放置	居住者が、台所のIHコンロでサラダ油を引いた鍋に火をかけたまま洗濯物を干していたところ、鍋に火が入り、台所に設置されていた住宅用火災警報器が発報した。警報音と立ち上る炎に気づき、鍋を玄関外の廊下に運んでタオルをかぶせるなどして消火した。	火災

上尾市における住宅用火災警報器(住警器)の奏功事例

No.	年月	時間	出火場所	建物概要	焼損程度	出火原因等	発見・通報・初期消火の概要	備考
49	R4.1	10時頃	井戸木	共同住宅	なし	電子レンジによる 過熱	2階の居住者が電子レンジで冷凍食品を加熱していたところ、電子レンジ内から煙が発生し、居室の住警器が作動した。居住者は警報音に気づき、119番通報を行った。	非火災